



町長 鈴木敏夫

輝かしい平成26年の新春を迎え、本日晴れて成人式を迎えられた85名の皆さま、ご成人、誠にめでとうございます。

成人となられた皆さまには、地域社会や国の発展のために貢献し、日本の未来を担うという重い責任が生じて参ります。これらのことを自覚し、自らの判断と責任により行動するといったことが求められることとなります。

川根本町も、少子高齢化や厳しい社会情勢の中で、行政、住民がそれぞれの役割を担うとともに、協働連帯の精神のもと、「水と森の番人が創る癒やしの里」実現に向けてさらなる努力をしていく必要があると思っております。また雇用対策を含めた若者の定住対策、次代を担う子どもたちの育成、高齢となっても安心して生

ご両親への感謝とふるさとを愛する心を 忘れずに頑張って欲しい

活できる環境づくりなどの安定した住民生活の実現に加え、農業の振興、森林の再生・創生、観光事業の充実などに努めていきます。

これからの人生、傷つき悩み、立ち止まり、前を向いて歩けなくなることもあるかもしれません。そんな時、この会場にいる仲間を思い出し、まず一歩踏み出してみてください。立ち止まって考えることも必要かもしれませんが、時には歩きながら考えることも大切なことでしょう。

これまで、皆さんを深い愛情を持って献身的に育ててこられたご両親への感謝とふるさとを愛する心を忘れることなく、若い感性と自ら新しい未来を開拓していこうとする強い意思をもって、自らの夢の実現と川根本町の未来のため、ご活躍くださることを期待しております。

昨年は、2020年の東京オリンピック開催が決定するなど、日本中が活気に満ちていました。そんな中、私は12月頃のある新聞記事が目に残りました。内容を見ていくと、川根本町では今後、年々人口が減少し、40年後には現在の半分の人口になってしまうというデータが出ていました。この町を離れて仕事をしている私ですが、約20年間育ててくれたふるさとのために何かできないかと考えました。そこで私は、仕事先での会話で川根本町の話題を多く出すようにしました。この会話から興味を抱き観光に来ていただく事ができれば、この町の良さをより知ってもらえると思っただけです。この町には、人々の心を魅了する力が十分にあると思います。その力を信じ、恩返しのできる気持ちも含めて、川根本町をPR

私たちが育ててくれたふるさと川根本町への 恩返しとしてPRに努めたい

していきたくと思います。私たちは今まで、両親や地域社会の保護のもとに過ごしてきましたが、今日からは一人一人、大人としての第一歩を踏み出し、社会の一員として、責任ある行動を取っていかなくてはなりません。しかし、未知の世界に対する不安が無いと言ったら嘘になります。そんな私たちに、皆さまから頂いた励ましのお言葉は、何よりの力づけでした。

私たちが新たな人生を生き抜こうという決意を持っています。が、なんととっても、まだまだ未熟者です。困難にぶつかり、くじける事もあるかもしれません。そんな時には、この川根本町で育ち学んだ事を思い出し、力強く生きていこうと思えます。

本日は、誠にありがとうございました。



謝辞 山本裕太さん (前山区)

特集～ありがとう！を言いたくて～

百号記念



2008
第28号



2007
第16号



2006
第4号



2010
第52号



2009
第40号

これからも皆さまに愛される
広報紙づくりを目指します



2013 第89号



2012 第76号



2011 第64号

成人式を振り返る